

ルームエアコン 据付説明書

9319221267-01



このエアコンは、地球のオゾン層を破壊しない、
冷媒R32を使用しています。



家庭用エアコン(冷媒R32)にはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

据付工事後に、必ず確認してください

確認した項目の□の中に印を記入してください。

- 電源は専用回路です
- 室内ユニットはがたつきがなく設置されています
- 室内ユニットは水平に設置されています
- 電源コードの中間接続や延長コードの使用、タコ足配線は行っていません
- 電源コンセントと電源プラグにがたつきはありません
- 端子盤の番号と接続ケーブルの色は、室内ユニットと室外ユニットを合わせました
- 接続ケーブルの中間接続を行っていません
- アースの接続は確実です
- サービスパレット(液側・ガス側)は全開です
- ドレンホースの接続は確実です
- 水を流してドレン排水が正常であることを確認しました
- 断熱は確実にまといました(接続配管)
- 壁穴部の隙間は完全にふさぎました
- 室内外ユニットの吸入口、吹出口は障害物でふさがっていません
- ダストボックス、エアフィルターは正しく取り付けました
- 吸込グリルはきちんと閉じました
- 試運転を行いました
- リモコンの設定をしました
- リモコンで操作し、エラーや異音なく冷房・暖房運転が出来ることを確認しました
- フィルターカーリン機能はエラー、異音などなく動作しました
- 取扱説明書に従って、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明しました
- この据付説明書は取扱説明書、保証書とともに、お客様で保管していただくように依頼しました

確認日

工事(施工)会社名、確認者、
電話番号

機種名

安全上のご注意(必ずお守りください)

- お使いになる人や他の人の危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に運営する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書に従って、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明してください。また、この据付説明書は取扱説明書、保証書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。

△警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがあるもの。

△注意 取り扱いを誤った場合、軽傷を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがあるもの。

絵表示の意味は次の通りです。△この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

△この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

△警告

- 据付工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する(自分で据付工事をされない場合と、水漏れやけが、感電、火災などの原因)
- 据付工事は、必ず付属品および指定の部品を使用し、この据付説明書に従って確実に行う(室内外ユニットの落下、水漏れ、けが、感電、火災などの原因)
- 作業中に冷媒が漏れた場合は換気する(冷媒が火気に触れる、有毒ガスが発生する原因)
- 配管、フレアナット、工具は、冷媒R32用もしくはR410A用のものを使用する(冷媒R22用の工具を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因)
- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付ける(フレアナットの締め付け過過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ、冷媒漏れの原因)漏れた冷媒が火気に触れる、有毒ガスが発生する原因)
- 据付工事では、圧縮機を運転する前に確実に接続配管を取り付ける(接続配管が取り付けられておらず、かつサービスパレットが開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内に異常高圧となり、破裂、けがなどの原因)
- アース(接地)を確実に行う(アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。アースが不確実な場合は、感電の原因)
- ポンプダウン作業では、接続配管をはずす前に圧縮機を停止する(圧縮機を運転したまま、かつサービスパレットが開放状態で、接続配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内に異常高圧となり、破裂、けがなどの原因)
- 据え付けは、室内外ユニットの重さに十分耐える所に確実に行う(据付工事に不確実があると、室内外ユニットの落しによるけがなどの原因)
- 周囲に熱源や火気がないことを確認してから作業を行う(冷媒漏れ、熱源や火気などに触れる、有毒ガスが発生する原因)
- 電気工事は、電気工事士の資格を持っている人が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する(電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災などの原因)

- 据え付けは、室内外ユニットの重さに十分耐える所に確実に行う(据付工事に不確実があると、室内外ユニットの落しによるけがなどの原因)
- 周囲に熱源や火気がないことを確認してから作業を行う(冷媒漏れ、熱源や火気などに触れる、有毒ガスが発生する原因)
- 電気工事は、電気工事士の資格を持っている人が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する(電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災などの原因)
- 室内外ユニット間の配線は、所定の接続ケーブル(VVFケーブル直径2.0mm)を使用し、確実に端子盤へ差し込むまた、端子盤に接続ケーブルからの無理な力が加わらないように、接続ケーブルを「配線押さえ」で確実に固定する(より線を使用したり、接続ケーブルの途中接続、差し込み・固定が不確実な場合、故障や感電、火災などの原因)
- 漏電しゃ断器を取り付ける(漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因)

△注意

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する(排水経路が不確実な場合、屋内に浸水し、家財などをぬらす原因)
- 室内外ユニットのアルミフィンに触らない(手を切る原因)
- 可燃性ガスが漏れるおそれのある所へは設置しない(ガス漏れが漏れてエアコンの周囲にたまると、発火して火災の原因)
- 室内外ユニットの下にほかの電気製品や家財などを置かない(水滴が滴下する場合があり、汚損や故障の原因)
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置しない(小動物が侵入して、内部の電気部品に触ると、故障や発煙、発火の原因)
- また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

据付場所の選定

- お客様の同意を得て据え付けてください。
- 調理場など油煙のある場所や、工場などで油を使用している場所、潮風が直接当たる場所、温水など硫酸ガスの発生する場所、腐食性ガスの発生する場所、おり、ホコリの多い場所、動物の尿がかかる、アノニアの発生する場所への設置は避けてください。
- 下記の条件が満たせる場所を選定してください。

室内ユニット

- 据付板の周囲に右図の間隔が取れる所。
- 室内ユニットの重さに耐え、共振音の出ない丈夫な壁面。
- 吸込口、吹出口付近に障害物がなく、冷気、暖気が部屋全体に行きわたる所。
- 室内ユニットの吹出口が、火災警報器から1.5m以上離れた所。
- 近くに熱源や蒸気の発生、可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 直射日光の当たらない所。
- ドレン排水がしやすい所。
- ダストボックス、エアフィルターが着脱できる所。
- 電源(専用回路)に近い所。(電源プラグが届く所)
- 電源は必ず専用回路を使用してください。他の電源回路を使うとテレビ、ラジオなどにノイズが発生するおそれがあります。
- 室内ユニットと電源コードが、テレビ、ラジオおよびそのアンテナ線より1m以上離れている所。
- 電波の干渉による影響を防止するため、次の機器からはできるだけ離してください。
- 電子レンジ、無線LAN機器、Bluetooth® 対応機器、その他の2.4GHz帯の電波を使用する機器の近く、デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコンの周辺機器など。
- 移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないこと。
- 電子式瞬時点灯方式の蛍光灯、薄型テレビの画面の影響を受けない所。
- 電子式瞬時点灯方式(インバーター方式など)の蛍光灯の近くに設置する、リモコンの信号を受け付けないことがありますのでご注意ください。屋間でも点灯してリモコンの信号を受け付けることを確認してください。

室外ユニット

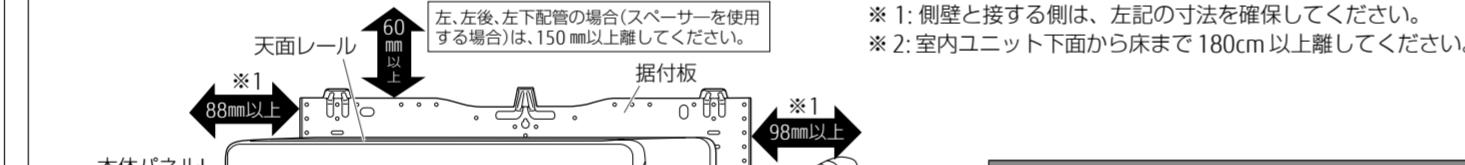
- 室外ユニットの周囲に右図の間隔が取れる所。
- 室外ユニットの周囲に開放された場所が選べず、やむを得ず壁などの障害がある場所に据え付ける場合、冷暖房能力および消費電力が悪化する場合があります。
- 雨や直射日光が当たるにくく、風通しの良い所。
- 近くに熱源や蒸気の発生、可燃性ガスの漏れ、またはたまるおそれのない所。
- 蒸気油煙、ホコリの排出される排気口、換気口などより離れている所。
- テレビ、ラジオ、無線機などのアンテナより3m以上離れている所。
- 強い風が直接吹きつけない所。
- 室外ユニット内部に雪が吹き込むない所。(季節風の影響を受けないように建物の北側や西側は避ける)。
- 積雪により室外機が雪に埋もれない所。
- 落雪や雪などの影響を受けにくい所。
- 暖房時のドレン水が排水されても支障のない所。(人の通る場所など)。
- 室外ユニット吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならない所。
- 特に隣家の境界線では、公害対策基本法第9条の規定に基づく騒音に係る環境基準および都道府県の条例などを満足するように据え付けてください。
- 据え付けが規制されていない所。
- 地区によっては、屋根上などの据え付けが規制されている場合があります。

リモコン

- カーテン、壁などの障害物でふさがれない所。
- 直射日光の当たらない所や、暖房器具などの熱の影響のない所。
- 柱や壁に取り付ける場合は、信号が本体に受信される所。
- 部屋に電子式瞬時点灯方式の蛍光灯を取り付けられている場合には、リモコンの信号を受信できない場合があります。蛍光灯を点灯させ、信号が本体に受信されることを確かめてから取り付けてください。

室内外ユニット据付図

室内ユニット



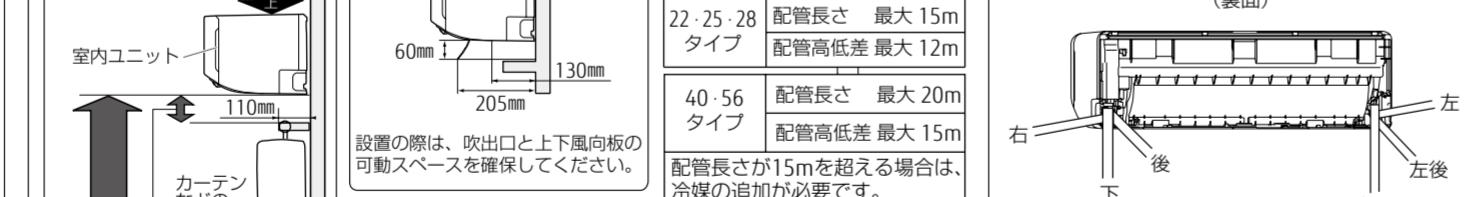
※室内ユニットに貼られている梱包テープをはがしてください。
※1: 側壁と接する側は、左記の寸法を確保してください。
※2: 室内ユニット下面から床まで180cm以上離してください。

室外ユニット



※室内ユニットの配管取り出し方向
●配管は、後、左、右、下、左後、左下から取り出せます。

室外ユニット



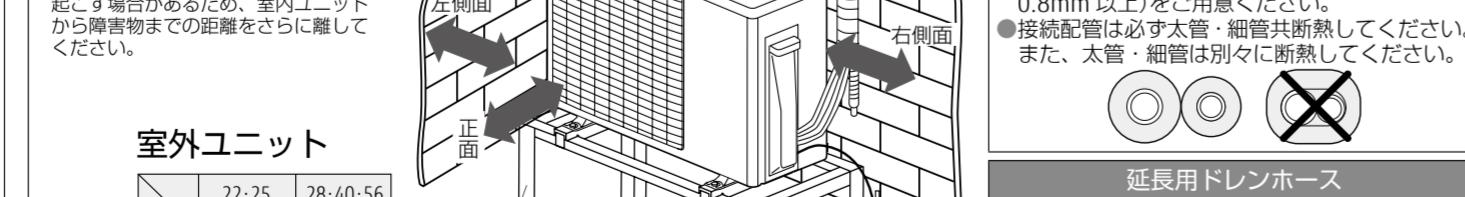
※室内ユニットの配管取り出し方向
●配管は、後、左、右、下、左後、左下から取り出せます。

室外ユニット



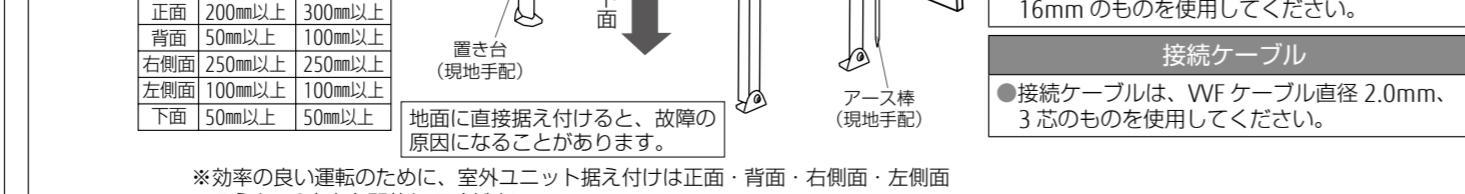
※室内ユニットの配管取り出し方向
●配管は、後、左、右、下、左後、左下から取り出せます。

室外ユニット



※室内ユニットの配管取り出し方向
●配管は、後、左、右、下、左後、左下から取り出せます。

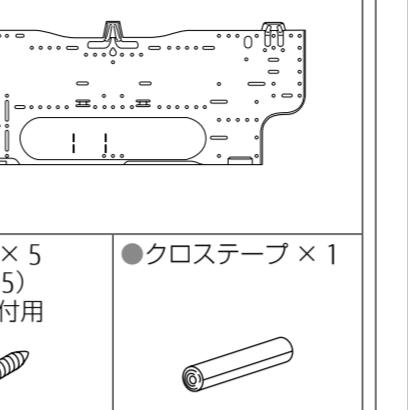
室外ユニット



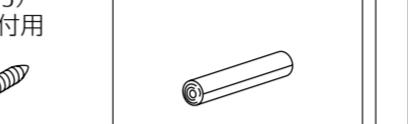
※室内ユニットの配管取り出し方向
●配管は、後、左、右、下、左後、左下から取り出せます。

標準付属部品

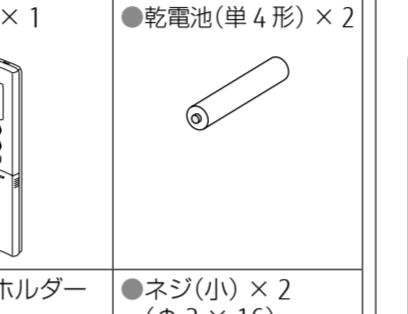
●据付板 × 1



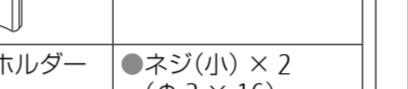
●ネジ(大) × 5
(Φ 4 × 25)
据付板取付用



●リモコン × 1



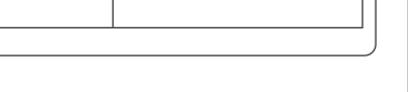
●ネジ(小) × 2
(Φ 3 × 16)
リモコンホルダー取付用



●リモコンホルダー × 1



●クロステープ × 1



1. 電源について

- 電源は、必ず製品の定格電圧と合わせてください。
- 電源が異なると、内部の電気部品が破損し運転できなくなります。または正常に動作しません。

△警告

- 電気工事・アース工事は、電気工事士の資格を持っている人が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って施工する電気工事に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 電源は必ず専用の分岐回路にし、専用のコンセントを設ける

能力クラス	電源	ヒューズおよびブレーカー定格	コンセント定格
22・25 タイプ	単相 100V	20A	125V/20A(Φ)
28 タイプ	単相 200V	15A	250V/15A(Φ)
40・56 タイプ	単相 200V	20A	250V/20A(Φ)

電源回路の容量不足などがあると、火災の原因になります。

●電源コードの改造や延長はしない

感電、火災の原因になります。

●漏電しゃ断器を取り付ける

漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になります。

3. 据付板の取り付け

△警告

- 据え付けは、室内ユニットの重さに十分耐える所に確実に行う
- 据付工事に不備があると、室内ユニットの落下によるけがなどの原因になります。

△注意

- 据付板は、水平・垂直に取り付ける
- 傾きがあると水漏れの原因になります。

壁に直接取り付ける場合

